

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	プログラミング
学年	小学校第4～6学年
目標	身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることに気付く。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	文部科学省「プログラミン」
環境	児童1人で1台の端末（デスクトップ型PC）を使用
都道府県	東京都
実施校	あきる野市立多西小学校
学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。）	<ul style="list-style-type: none">・プログラミンを用いて、自分の意図した動作が再現できるよう命令を入力する。・命令の組み合わせをどのように改善すれば自分が考える動作により近づいていくのかを試行錯誤しながら考える。
成果と課題	<p>○試行錯誤を通し、プログラミング的思考を育むことができた。</p> <p>●児童用タブレット型PCが届いていないことや、校内LANの整備が遅れているため、日常的にPCを活用できるような学習環境になっていないこと。</p>